

甲賀
土木
事務所

滋賀県道路整備

アクションプログラム

2023

つながる
ひろがる

スムーズで
クリーン

快適で
セーフティ

行きたく
なる
居たく
なる



すべての人がどこにいても安全・快適に
移動できる道路整備を目指して



甲賀流リアル忍者館



油日神社



信楽焼



長寿寺



常楽寺三重塔



甲賀地域は、近畿圏と中部圏を結ぶ交通の要衝にあり、近年は新名神高速道路や国道1号バイパス等の幹線道路整備が進んでいます。また、名神名阪連絡道路の事業化に向けた動きも見られ、幹線道路網の充実に伴い新たな企業が進出する県内屈指の活気ある地域です。

一方で、インターチェンジといった交通結節点や工業団地へのアクセス道路の未整備区間が残存し、大型車が生活道路へ流入するなどの課題も発生しています。そのため、産業振興による地域活性化、安全・安心の確保に寄与する道路整備が望まれています。

これらを踏まえて、隣接する大津湖南地域、東近江地域や他府県とのさらなる連携強化も意識しながら、道路の利用状況に応じたバランスのとれた道路整備が必要です。

道路整備アクションプログラム2023 とは

「滋賀県道路整備アクションプログラム 2023」は、滋賀県における道路整備の基本方針である「滋賀県道路整備マスタープラン(第3次)」に基づき策定した、将来10年間(2023年度～2032年度)の具体的な道路整備計画です。

本県の人口は、平成25年頃をピークに既に減少局面にあり、生産力の低下、地域の過疎化の進展などの課題が懸念される中、道路整備の面でも県の基本構想および国土交通省の施策などを踏まえながら、地域の実情に応じた道路整備を進めていく必要があります。

こうした社会経済情勢の変化を背景に、アクションプログラムの見直しを行いました。見直しにあたっては事業の重点化を進め、より効果的・効率的な計画となるよう努めるとともに、県下8地域で行った地域ワーキングなどの取組を通じて、地域の声を反映させたプログラムとなっています。

客観的な評価による道路事業の優先順位づけ

滋賀県の道路整備事業を「拠点間ネットワーク整備事業」と「拠点内道路空間整備事業」に大別し、客観的な評価により点数付けを実施し、優先度の高い事業の整備を推進します。

事業の評価では、地域ワーキングにて設定された「地域の重点項目」による地域特性を反映しています。



アクションプログラム2023 策定の流れ

滋賀県道路整備マスタープラン(第3次)

令和3年度策定

取組の柱とそれらを実現するための施策について

[すべての人がどこにいても安全・快適に移動できる道路整備を目指す]
 “県内外の拠点間ネットワークの強化”
 “安全で快適に移動や滞在ができる道路空間の創出”

柱1

つながる・ひろがる

柱2

スムーズでクリーン

柱3

快適でセーフティ

柱4

行きたくなる居たくなる

❖ 甲賀地域ワーキング

目的役割

- ◇地域課題の抽出や、その課題を踏まえた今後の道路整備に向けて、広く意見を伺う
- ◇客観的評価マニュアルにおける地域特性の評価に必要な「地域の重点項目」を選定
- ◇今後の道路整備に関する「地域の声※」の取りまとめ

※「地域の声」とは地域ワーキングで伺った意見をもとにまとめた地域課題やその課題を踏まえた今後の道路整備についての意見

委員

有識者、公募委員、道路利用者、市町職員、経済団体、観光関連団体等

第1回

令和4年
8月9日(火)

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見をいただきました。

第2回

令和4年
10月13日(木)

第1回WGでいただいた意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、ご意見をいただきました。

第3回

令和4年
11月24日(木)

「地域の声」「地域の重点項目」の報告、地域の課題を解消する事業中箇所を提示し、ご意見をいただきました。

第4回

令和4年
12月21日(水)

「地域の声」や「地域の重点項目」の最終案を提示し、内容についてご意見をいただきました。



第1回



第4回

地域の重点項目

- ① I.C.や鉄道駅、工業団地へのアクセス道路の整備
- ② 交通渋滞の緩和
- ③ 通学路の整備
- ④ 公共施設周辺の歩道等の整備

❖ 客観的評価マニュアル(令和3年度改訂)

拠点間ネットワーク整備

バイパス整備等、交差点改良、道の駅

4項目で評価

01

取組の柱の実現

02

その他評価項目

03

費用便益比

04

地域特性

地域の重点項目

拠点内道路空間整備

歩行空間整備(歩道設置、自転車歩行者道設置、バリアフリー、電線共同溝)

道路空間再配分

3項目で評価

01

取組の柱の実現

02

その他評価項目

03

地域特性

地域の重点項目

将来10年間の道路整備計画

滋賀県道路整備アクションプログラム 2023

すべての人がどこにいても安全・快適に移動できる道路整備

どこに

どんな道路が

いつまでに必要か

10年間の具体的な道路の整備計画

CHECK

詳細は中面へ

拠点間 ネットワーク整備事業

00

整理番号	路線番号	路線名	工区名	事業内容	継続	前期(R5~R9)		着手時期検討
						着手	完了	
①	307	国道307号	勅旨・長野	バイパス整備(無電柱化)				●
②	307	国道307号	長野・江田	バイパス整備(無電柱化)	●		(●)	
③	4	草津伊賀線	三雲西	交差点改良		●	(●)	
④	5	木津信楽線	杉山	道路拡幅	●		●	
⑤	22	竜王石部線	菩提寺・石部	バイパス整備		●		
⑥	41	土山蒲生近江八幡線	頓宮	道路拡幅		●	(●)	
⑦	49	甲南阿山伊賀線	新治北	道路拡幅				●
⑧	49	甲南阿山伊賀線	新治南	道路拡幅	●		●	
⑨	113	石部草津線	石部中央	交差点改良		●		
⑩	122	貴生川停車場線	虫生野	バイパス整備		●		
⑪	123	水口甲南線	稗谷・葛木	バイパス整備	●			
⑫	128	杉谷巖峨線	深川・稗谷	道路拡幅	●		●	
⑬	128	杉谷巖峨線	深川	道路拡幅				●
⑭	164	水口竜王線	伴中山	交差点改良	●		●	
⑮	164	水口竜王線	馬場橋	道路拡幅		●		
⑯	180	増田水口線	松尾	バイパス整備				●
⑰	535	泉水口線	泉	交差点改良				●
⑱	537	山名坂線	山	交差点改良		●	●	

(●)部分完了

参考掲載事業 (国・NEXCO・市町)

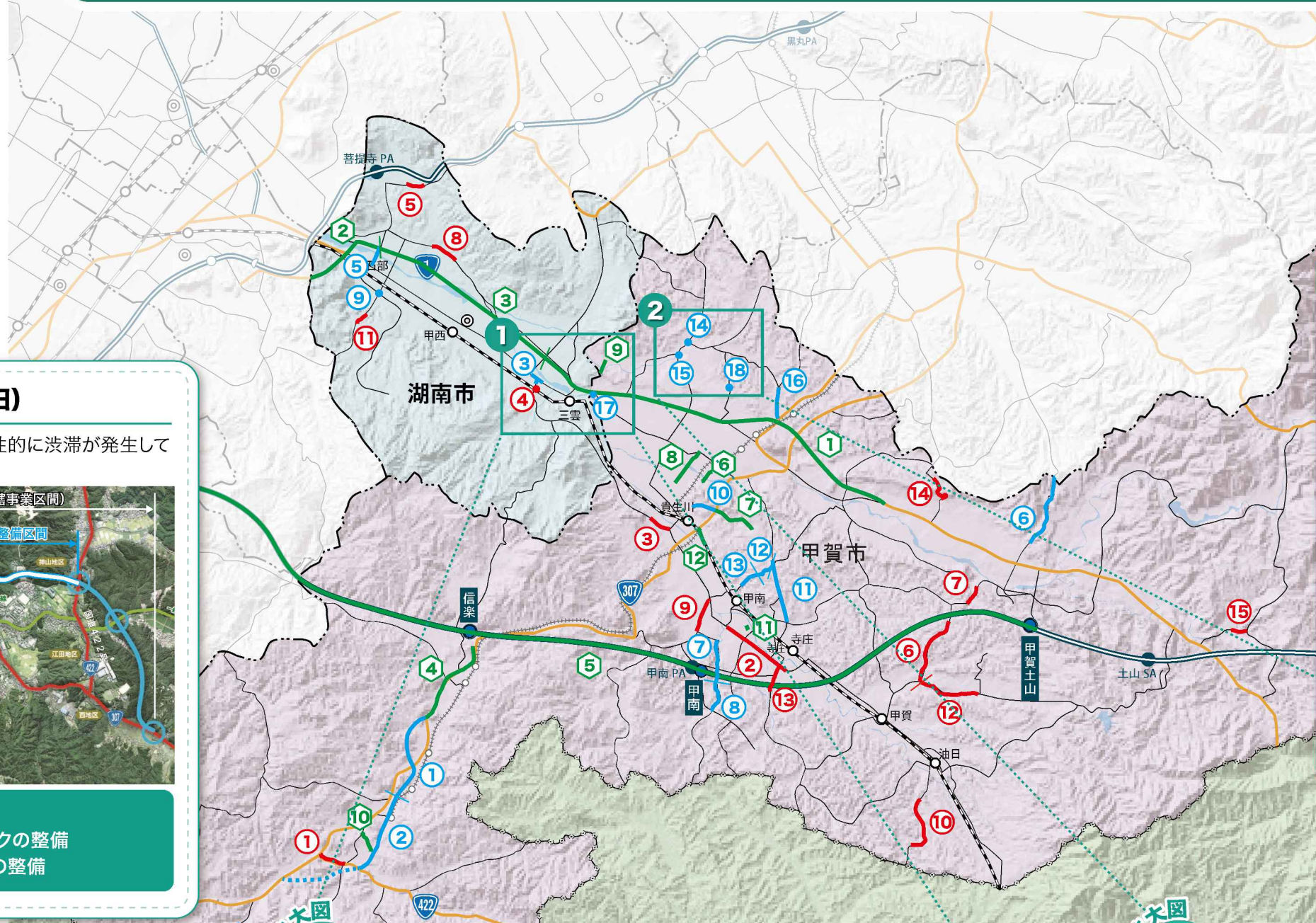
00

事業主体	整理番号	路線名	工区名	事業内容	継続	前期(R5~R9)		着手時期検討
						着手	完了	
国土交通省・NEXCO	①	国道1号	水口道路	バイパス整備	-	-	-	-
	②	国道1号	栗東水口道路Ⅰ	バイパス整備	-	-	-	-
	③	国道1号	栗東水口道路Ⅱ	バイパス整備	-	-	-	-
	④	国道307号	信楽道路	道路拡幅	-	-	-	-
	⑤	近畿自動車道 名古屋神戸線(新名神高速)	甲賀土山IC~大津JCT	-	-	-	-	-
甲賀市	⑥	市道新町・貴生川幹線	内貴橋	バイパス整備	●		●	
	⑦	市道虫生野希望ヶ丘線		バイパス整備	●			
	⑧	市道水口北内貴線	1工区	バイパス整備				●
	⑨	市道泉・下山幹線	下山工区	歩道整備	●		●	
	⑩	市道御輿道	長野工区	道路拡幅	●			
	⑪	市道野田中央線	野田工区	バイパス整備	●		●	
	⑫	市道貴生川・宝木幹線	虫生野工区	歩道整備		●		

事業箇所数

- 拠点間ネットワーク整備事業 **18**箇所
- 拠点内道路空間整備事業 **15**箇所
- 参考掲載事業 **12**箇所

道路整備アクションプログラム2023 箇所図



拠点間 ② 国道307号(長野・江田)

●線形、幅員ともに整備が不十分で、慢性的に渋滞が発生している区間のバイパス整備

全体計画延長 L=6.8km(滋賀県直轄事業区間)

「地域の声」との関連

- ▶広域的な連携を強化するネットワークの整備
- ▶渋滞のないスムーズなネットワークの整備

拠点間 ⑤ 竜王石部線(菩提寺・石部)

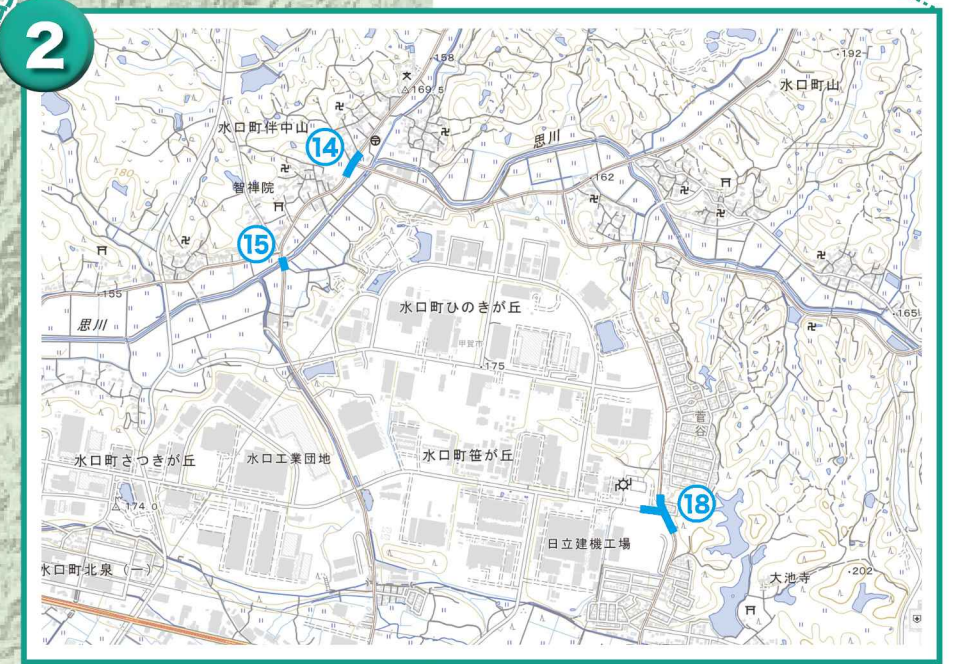
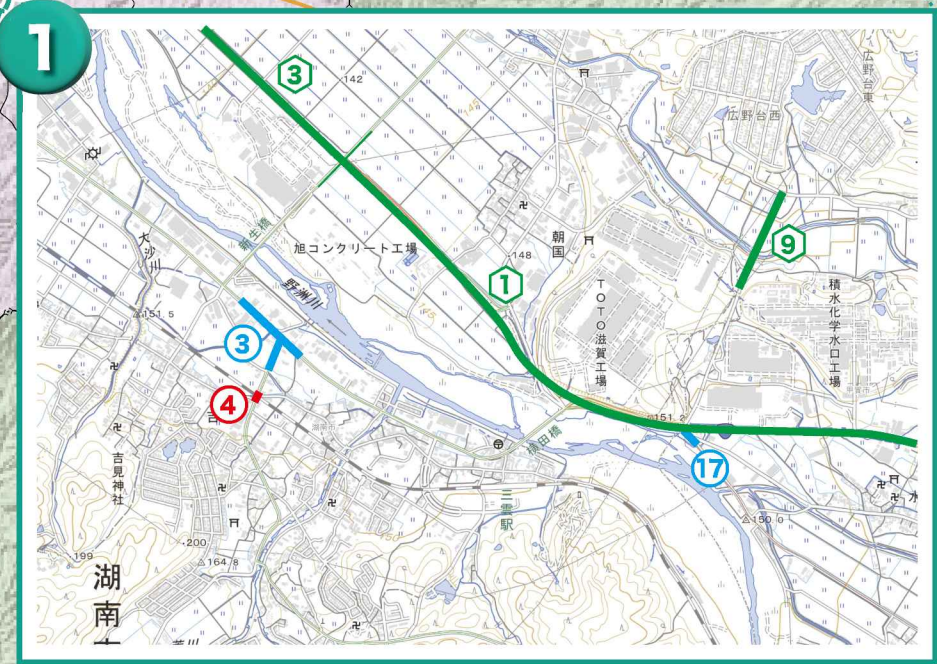
●一級河川野洲川を渡河する橋梁整備により、渋滞緩和のための交通ネットワークを強化

「地域の声」との関連

- ▶広域的な連携を強化するネットワークの整備
- ▶渋滞のないスムーズなネットワークの整備

凡例

● 拠点間ネットワーク整備事業	〇〇	—— 高速・有料道路
● 拠点内道路空間整備事業	〇〇	—— 新名神計画道
● 参考掲載事業(国・NEXCO・市町)	〇〇	—— 国
		—— 主要地方道・一般県道
		—— JR在来線
		—— JR新幹線
		—— 私鉄
		—— 境界線
		—— 市境界
		—— 県境界
		● 市役所
		● インターチェンジ



※地理院タイルに事業箇所を追記して掲載

※地理院タイルに事業箇所を追記して掲載

拠点内 道路空間整備事業

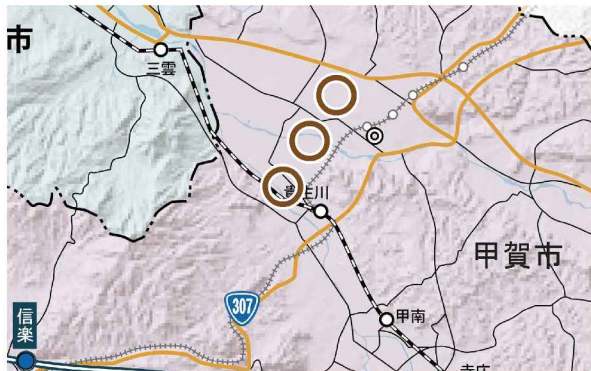
整理番号	路線番号	路線名	工区名	事業内容	継続	前期(R5~R9)		着手時期検討
						着手	完了	
①	422	国道422号	江田	歩行空間整備 (歩道設置)				●
②	4	草津伊賀線	野田・池田	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)	●			
③	4	草津伊賀線	三大寺	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)	●			
④	4	草津伊賀線	三雲	歩行空間整備 (歩道設置)		●		
⑤	22	竜王石部線	菩提寺	歩行空間整備 (歩道設置)	●		(●)	
⑥	24	甲賀土山線	鳥居野・小佐治	歩行空間整備 (歩道設置)	●		(●)	
⑦	24	甲賀土山線	岩室	歩行空間整備 (歩道設置)		●		
⑧	27	野洲甲西線	正福寺	歩行空間整備 (歩道設置)				●
⑨	49	甲南阿山伊賀線	杉谷	歩行空間整備 (歩道設置)				●
⑩	51	東湯舟甲賀線	高嶺・和田	歩行空間整備 (歩道設置)	●		●	
⑪	113	石部草津線	宝来坂	歩行空間整備 (歩道設置)				●
⑫	129	南土山甲賀線	神・鳥居野	歩行空間整備 (歩道設置)				●
⑬	134	上馬杉野尻線	野尻	歩行空間整備 (歩道設置)				●
⑭	183	日野徳原線	大野・徳原	歩行空間整備 (歩道設置)				●
⑮	507	鮎河猪鼻線	黒川	歩行空間整備 (歩道設置)		●		

(●)部分完了

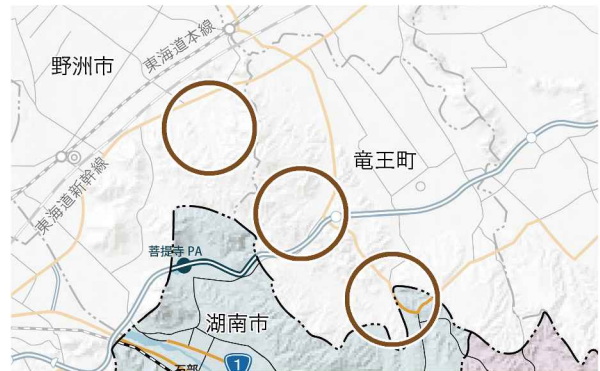
今後の道路ネットワーク整備に向けた検討

10年間の実行計画であるアクションプログラムとは別に、各地域における課題の解消に向け、今後の道路ネットワークやまちづくりに必要と考えられる次の対象路線について、整備効果・手法(事業主体、旧道移管等)、具体的なルートや構造等の検討が必要であるため、事業の必要性・優先度の整理を市町とともに行います。

1 【仮称】水口南北道路 (甲賀市水口町南林口付近 ～甲賀市水口町高山付近)



2 【仮称】野洲竜王湖南広域幹線道路 (野洲市大篠原付近～蒲生郡竜王町薬師付近 ～湖南市日枝町付近)



甲賀地域(甲賀市・湖南市)は、東西方向に新名神高速道路、国道1号、国道422号等が南北方向には国道307号、彦根八日市甲西線等の幹線道路が通過する交通の要衝です。近年では国道1号栗東水口道路や水口道路が供用(平成28年3月)されるとともに、新広域道路交通計画において高規格道路に位置付けられている「名神名阪連絡道路」が国の重要物流道路に指定されるなど、事業化に向けた進展がみられ、新たな幹線道路網の整備による地域の活性化が期待されています。

一方でインターチェンジや鉄道駅、工業団地へのアクセス道路では未整備区間が残っています。また、通学路の整備をはじめ、高齢者や障がいのある方など、あらゆる人が安全で安心して利用できる歩道整備の推進や、近年のサイクルツーリズムを背景とした自転車の利用のための自転車走行環境の整備も望まれています。

アクションプログラムの見直しにあたり、令和4年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂きました。これらを「地域の声」として以下の6項目に取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

① 災害に強い道路整備

近年、地震や大雨・大雪などによる自然災害が全国的に多発、激甚化しています。行政間で連携を図り、ソフト対策と合わせて、適切に維持管理を行い、災害の未然防止、早期復興に資する災害に強い道づくりが必要です。

② 広域的な連携を強化するネットワークの整備

甲賀地域では新名神高速道路の開通や国道1号バイパスの供用により広域交通の利便性が向上していますが、他地域との広域連携による更なる地域活性化を図るため、インターチェンジや鉄道駅などの交通結節点へのアクセス道路および幹線道路を補完する補助幹線道路の整備が望まれます。

③ 物流を支えるネットワークの整備

甲賀地域は、滋賀県内で最も多くの事業所が立地しており、地域経済を牽引していますが、工業団地と広域の幹線道路を連絡する一部ルートで大型車が生活道路を通行せざるを得ない状況がみられます。物流を支える道路整備を推進し、地域の安全確保と更なる企業立地の進展を支援するための幹線道路網の整備が望まれます。

④ 渋滞のないスムーズなネットワークの整備

甲賀地域では、幹線道路における車線数不足や朝夕ピーク時に慢性的な渋滞が発生しています。地域経済の更なる発展や観光振興を図るため、渋滞のないスムーズなネットワーク整備が望まれます。

⑤ 安全・安心な道路空間の創出

交通事故の削減を目指し、行政間で連携し、高齢者・子ども・障がいのある方、観光での来訪者など、あらゆる人が安全・安心に利用できる歩道整備が望まれます。

併せて、良好な道路環境を創出するためにも適正な維持管理が必要です。

⑥ 自転車走行環境の整備

甲賀地域では、通学や観光で多くの方が自転車を利用しています。自転車走行の安全を確保するため、道路空間の再配分や自転車専用道路整備等による自転車走行環境の整備が望まれます。

